令和5年度取組状況

ものづくり工学科 ロボットエ学コース 教授 鈴木拓雄 取 組 状 1.成果 デザイン思考で知られている5つのステップ、すなわち①共感、②問題発見・ 定義、③アイディア発想、④プロトタイピング、⑤テスト(検証)のうち、従来は 「②問題発見・定義」に留まることが多かったが、今年度は「③アイディア発 想」の段階に進むことができ、個人作業とグループ作業との関連を体験させ ることができた。 教育 2.課題 グループとしてのアイディアの策定や、それに基づいた④プロトタイピングに 至ることができていないことが課題である。エンジニアリングデザインを行う期 間内に試験に関する解説を行っていることも取組時間を現象させている原因 なので、授業構築の検討が必要である。 1 梅埜耕, 杉本聖一, 小薗井一輝, 田宮高信, 鈴木拓雄, ポリマーブレンドに よるポリ乳酸の成形性の改善と機械的特性への影響,第42回数理科学講演 会, 都立産業技術高専荒川キャンパス, 2023/8/26 2 中野優奈, 田宮高信, 柴田芳幸, 鈴木拓雄, 杉本聖一, 冨田宏貴, 繰り返し ねじりによるフレキシブルシャフトのねじり特性の変化の研究,第42回数理科 研究 学講演会,都立産業技術高専荒川キャンパス,2023/8/26 3 岩崎辰紀,鈴木拓雄,宮川睦巳,田宮高信,杉本聖一,応力発光体を用い |たコンクリートの曲げ試験における損傷度評価,第42回数理科学講演会,都 |立産業技術高専荒川キャンパス, 2023/8/26、他2件 出前授業での出講 「見えない力を見る技術」(10月26日 世田谷区立千歳中学校) その他 外部団体試験問題 作問委員(機械) 社会貢献